質問

度は、

## 西東京市議会後以

## 代表質問 (4)

## 況は。 質問 知的障害者入所施設 求めている。 たんぽぽにおける虐待問題 みんなの党西東京

夢と希望の街西東京市を!

いたが、早々に実施したこ

講座と講演会等を月1

口

平 成 26

継続する。

もっと健康

もっと元気に

なっていただく取り組みを の方に障害者サポーターに ペースで開催し、より多く 市長のビジョンを問う!

森石小

田田峰

和

いさお

対応していきたい。

質 問 ける受益者負担について については、大原則として 行財政改革大綱(案)にお 受益者負担の適正化

きではないと考えるが見解 安易に市民負担を求めるべ

は、各弁 意見 安易な負担は求める て明確に位置づける。 断すべく、検討の対象とし かにする。現在負担のない ものは負担導入の可否を判 コストと負担の関係を明ら 定期的な見直しにより 現在負担 のあるもの

大綱素案にも明記されてい 庁舎統合整備について べきでないと、行財政改革

質問 1月に行った市民と

の取り組みについて問う。 見募集の特徴的内容と今後 受けて方針決定が1年延 されたが、意見交換会や意 意見交換会、意見募集を

の提出があった。2庁舎体が参加、意見募集には13人111人 や統合庁舎の位置に対する 統合後のサービスのあり方制を望む意見もあったが、 答弁 意見交換会には 案までとする。 平成25年度は統合方針 ると、統合すべきという考 効率への影響などを勘案す サービスや財政負担、業務 る。2庁舎体制に伴う市民 の老朽化も喫緊の課題であ 意見が多かった。保谷庁舎 えに変化はない。しかし、 の素

ある。 財政への影響について

平成26年度予算案は

根斉谷岡 康慎清智 雄郎子明

日本共産党西東京市議団

最優先に予算編成を図れ!

市民の暮らしを守ることを

接求めているわけでない。6%、不満とやや不満が 質問 調査を求める。 ことなら、改めて市民意識 方針決定が1年延伸という 体制に満足とやや満足が42・ 市 民意識調査では、2庁舎 平成24年5月実施の

ありきで進めるのは問題で 市民合意のないまま統合先 意見 庁舎問題について、

倉安保藤

意見聴取を行う。出前講座答弁」来年度は市民説明や 聞きたい。 も行い、より多くの意見を

消費税増税の市民影響と市

の影響と増税による市財政 出していない。消費税増税 また所得の低迷からも抜け の暮らしは大打撃を受け、 消費税増税に加えて年金、 なっているが、4月からの への影響は 医療の負担増で市民

**している。市財政への影響料や配慮すべき事項は認識** 額の減、合併算定替えの 増額だが、その分地方交付 答弁 市民生活への影響は 減などで減額となる。 地方交付税は国の示す需要 税が同額減額され、さらに 税交付金は5億3千万円の 負担増、歳入では地方消費 は歳出が約3億4千万円の 品の価格上昇など、懸念材 景気の腰折れや、 生活必需

スの保険外しについて 介護保険の要支援者サービ

これまで同様のサービス内 質問 介護保険の要支援者 サービスが保険外となるが

避けるべきだ。見解は。

5年ぶりの市税 300億円と

答弁 現在締結している市 害などの緊急対応として、 建設専門関係者との災害協 定が不可欠と考える。 災害時の建物倒壊被

線(ひばりヶ丘駅北口)

ている。用地取得などの関約8%の事業進捗率となっ 係から平成31年3月31日ま で5カ年の事業延伸を申請

考えるが見解を伺う。

質問 生ごみの資源化でご

み減量をより推進すべきと

25年度中に一定の合意形成要面積等を勘案の上、平成

るよう調整を進

の回答があった。今後、必

とを条件に協議に応じると

生ごみ資源化事業

答弁 既存介護サービス事 円滑な実施に向けて進め イドラインが示されるので 主体による事業の受け皿を 業者の活用を含め、多様な 容の施策を展開せよ。 整備する。今後国によりガ

災害協定について

丘駅北口のバリアフリー化 について。

質問 進捗状況とひばりヶ

答弁 平成26年1月末現在

平成26年度以降、

状

小中学校適正配置

て資源化する。

中原小学校の建てかえに関

ひばりが丘中学校、

、UR都市再生機構との

な

渡予定地の一部について公 (**答弁**) 平成25年12月に、譲協議状況を問う。

希望する旨の協議を申し入共用施設用地として確保を

内工事業組合に加え、新た 都市計画道路3・4・21号 な協定について協議する。

希望する旨の協議を申し入れた。UR都市再生機構からは、ひばりが丘団地内のらは、ひばりが丘団地内のらは、ひばりが丘団地内のらは、ひばりが丘団地内のの地域のの土地が民間事業者への土地が民間の協議を申し入

る。 者の利便性や交通空白地域質問 公共施設や病院利用 はなバスルート を考慮したルートの検討 置に向けた協議を進

エスカレーターの

し、生ごみだけを週1度無

んめて

ごみは市内専門業者に搬入 料で収集する。収集した生

乾燥して軽量土壌とし

地域公共交通会議で見直し 性と利用実態を検証して、 どを行い、運行経路の必要 降調査や市民アンケート

金改定についても検討す の公費負担に対する公平性 用者との料金格差や、市民 線バス利用者とはなバス利 を検討する。また、民間路 などの課題があり、今後料 る。

した。西武鉄道とエレベー

答弁 2つの線が接続する う道路ネットワークが完成 ことで、田無駅南口に向か 線の整備についての見解は。 子どもの虐待防止の取り組 向上すると考える。 アクセス性と防災性が

ているが、当市の現状と、 に対する虐待事件が頻発し に配置する狙いは。 子ども家庭支援センターに 「虐待防止支援員」を新た

ると考えるが、見解は。

にあり、 補助を行う役割を担うこと る。目視による安全確認の 応するため支援員を配置す の連絡件数は年々増加傾向 疑われると関係機関等から 迅速かつ適切に対 児童の安全確認の

るとは限らないが、

待機児童対策について 体制整備を強化する。

力いただける市民を募

集

の直接収集に着手する。 答弁 平成26年度は生ごみ

協

答弁 保育園の入園希望者 などを丁寧に行う専任の嘱 握し、入園相談や情報提供 の個々のニーズを適切に把 を新たに配置する狙いは。 質問 私立認可保育園2園 につながると考える。 託員を3名配置することに に「地域子育て支援推進員」 の施設整備を進める市の 勢を評価する。 より、保育サービスの 保育課窓口 向上 姿

ずに障がい者の就労を生みくその一部で、税金を使わ 受けたので感想を述べる。 を図ると伺ったが、感銘を えることに着目して、分解すと市への収入が大きく増 なぜならば市に入る収入を 出すからである。これはま 全て市の財源にすることな 労施設と連携して就労支援 作業を市内身体障がい者就 済み小型家電を分解してか 各家庭から集めた使 新たな取り組みと 定の業者に引き渡

## 結果通知を手渡し、改善を 答弁] 平成26年2月28日に 告書の提出を3月末までに 障害者サポーターについて 要する事項を指摘した。報 けて実施した指導検査の状いて、昨年11月に2日間か たんぽぽでの虐待問題につ とを高く評価する。 年度の実施予定は。

養

答弁 平成26年度は、

ときに提案をさせていただ

昨年第3回定例会の 障害者サポーター制 障害者サポーター養成講座受講時にもらえる サポートバンダナとキーホルダー

答弁 各薬局の相談機能を 体制の構築が重要である。 めには、薬剤師会との協力 質問 市民の健康管理のた

検診事業について

を置かせていただくなどの 生かし、自殺予防のチラシ ご協力をいただいている。 がん検診の有料化は

整備に伴い、田無駅南西部質問 田無駅南口駅前広場 田無駅南口について 4 する都市計画道路の整備が 地域から駅南口にアクセス 施策を検討していく。 必要だと思われるが、3・ 24号線と3・3・3号

質問 自治会·町内会等活 場合に資金などが必要にな る。地域協議会が設立した 性化補助金は有効だと考え 地域コミュニティについて をいただいた。今後慎重に はやむを得ない」との答申 一定の負担を求めること 保健福祉審議会から 質問 全国的に幼い子ども みについて

答弁 虐待やネグレクトが

使用済み小型家電の資源化 事業の充実について を果たすことを期待する。 不安や不満を和らげる役割

意見 この取り組みが直ち 探しに悩む親御さんたちの に待機児童の解消につなが 保育所 はこの職員を褒めるべきで の方の発案と伺ったが市 参考にすべきアイデアであ 取り組みであって、他市も る。ごみ減量推進課の職員 さに「無から有を生み出す」